



世界初の 金融サービス向け パブリッククラウド

金融サービス業は、“ディストラクション (業界破壊)”に直面している

金融サービス業界は今、多くの破壊的脅威に直面しています。顧客からは革新的なサービスや商品に対してこれまでにないほど要求が高まっており、FinTech 企業との競争にさらされ、規制対応とサイバーセキュリティ対応に追われています。

2018 年には、ベンチャーキャピタルからの FinTech 企業に対する投資は 120% 増えて 396 億ドルに達しています^[1]。こうした状況の中、金融サービス業界における競争はますます激化すると予想されています。

2007 年から 2008 年の金融危機以来、金融規制のさらなる強化により、業界全体では 3,210 億ドル規模の違約金が発生しています^[2]。ほとんどの大規模な銀行で、ガバナンスやリスク管理、コンプライアンス対応のコストは、総経費の 15% から 20% を占めるに至っています^[3]。金融サービス業のリスク管理部門は、規制違反による多額のコストを考慮しつつ、半年から一年おきに見直すコンプライアンス対応の必要性に迫られながら、金融規制に準拠した IT 装備をいかにして整備し進化させていく責務を負っています。

同様に、サイバー犯罪が多くの業態のデジタルビジネスを悩ませている中、金融サービス企業も高いコストをかけざるを得ない状況にあります。情報漏洩などによってかかる損害は、グローバル全体でおよそ 7,000 億ドルにも達しています^[4]。こうした脅威に関連した損害をできる限り削減する IT 整備も非常に優先度の高い対応とされています。

このような多くの複雑な業界課題に対し、競争力のあるスピードで革新的な商品やサービスを提供する新たなビジネスモデルを創出するために、既存の金融機関は独立系ソフトウェアベンダー (ISV) や Software-as-a-Service ベンダー、そして FinTech 企業そのものとのパートナーシップを結ぶ道を模索しています。

金融サービス企業には、その独自のニーズを満たすクラウド環境が求められている

他の多くの業界組織と同様に、金融機関もより良い顧客体験の追求と基幹業務の刷新を進めようとしています。より早く変革と革新をもたらすためには、第三者機関とのコラボレーションが重要となります。

パーソナライズされた銀行サービスや、競争を凌ぐ価値の高いオンデマンドの商品やサービスを顧客に提供していくための IT 装備として必要なのは、俊敏性や柔軟性、拡張性をそなえたシステム基盤であり、それこそがクラウド・コンピューティングのもたらす価値です。

しかしながら、金融機関がより革新的であり続けようとする中で、彼らはセキュリティと同時に、金融規制対応の要件も満たしていかなばなりません。クラウドを活用して金融機関が ISV や SaaS プロバイダーと連携してサービス提供する上では、セキュアなフレームワークによって十分な信頼性が確保されたパブリッククラウド環境が不可欠なのです。

このフレームワークは以下のような観点で構成されるものです。

- クラウド環境全体でのセキュリティと信頼性
- 金融規制要件に準拠するポリシー制御
- 完全なデータ暗号化とデータセキュリティ制御
- 利用者による知的財産権の制御
- ミッション・クリティカルシステムの安定稼働
- 企業内プライベート環境との可搬性と整合性
- 業界と規制の知見に裏付けされたガバナンスと変更管理

今日では金融機関は、クラウドが変革を担うものと認識しはじめています。その多くはハイブリッドクラウド戦略をとっており、プライベート環境とパブリック環境の双方にデータやアプリケーション、業務サービスを配置しようとしています。IBM が世界初の金融サービス向けクラウド (Financial Service Ready Public Cloud) を発表したことで、パブリッククラウドは、金融機関のデジタル変革を安全に迅速にそして効率的に推進する重要な選択肢となるのです。



IBM が設計した世界初の金融サービス向けパブリッククラウド

2019年11月、IBMは世界初の金融サービス向けパブリッククラウドを発表しました。これはIBM Cloudで適用され、金融機関に求められる金融規制対応、高度なセキュリティ、高可用性を実現します。規制に基づくサービス提供が求められる金融業界の目的に沿ったポリシー・フレームワークをもつ、唯一のパブリッククラウドで、強力な暗号化とセキュリティを備えています。



世界初の金融サービス向けパブリッククラウド

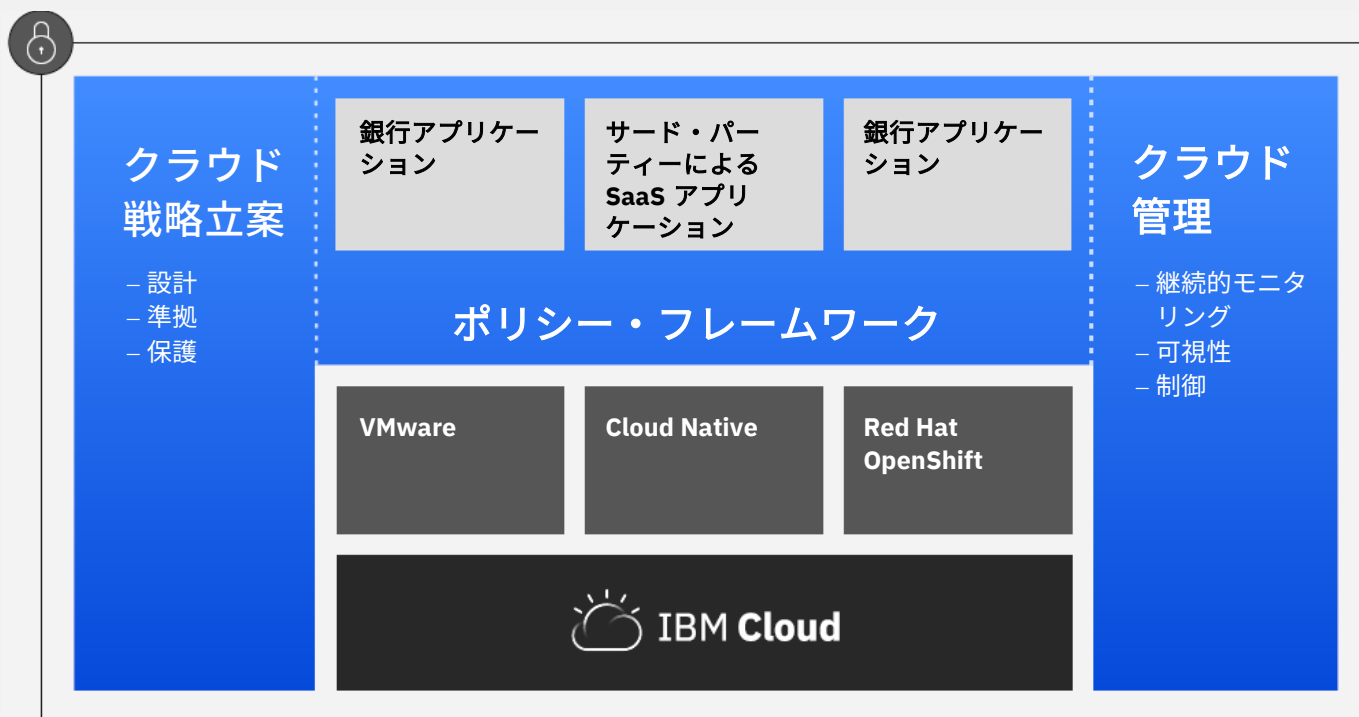


図 1: IBM パブリッククラウド上に構築された金融サービス向けパブリッククラウド

金融サービス向け パブリッククラウドとは



高い安全性で企業利用に向く パブリッククラウド

高度なセキュリティーを備え企業利用に特化したパブリッククラウドとして、様々なインフラストラクチャー・モデルを提供 – VMware as a service や Cloud Native サービス、そして Red Hat OpenShift などのインフラストラクチャーを金融機関特有の具体的な要件を満たした形で提供します。金融サービス向けパブリッククラウドの機能群は IBM Cloud 上で機能し、機密性の高いデータを扱う重要基幹システムに対してデータの暗号化や高度なセキュリティー対応を実現します。



金融サービスに特化したポリシー・フレームワーク

IBM の金融サービス向けパブリッククラウドは金融機関の規制対応に準拠し、安全でコスト効率の高いポリシー・フレームワークに基づいて設計されています。銀行に求められるセキュリティー基準や規制要件とルールを満たし、クラウドのベスト・プラクティスを適用します。

銀行が顧客に対して新たなサービス提供を加速するために、ポリシー・フレームワークは規制要件に即時に対応していきます。

IBM パブリッククラウド、銀行、第三者企業も含めて全体でのコンプライアンスを確保するために、ポリシー・フレームワークではその管理要件を共同責任の協業モデルで設計し、さらに IBM Promontory 社がもつ最新のガバナンスの観点を取り入れます。規制コンプライアンス領域のリーダー企業として、IBM グループ企業である Promontory 社は元規制機関のスペシャリストによって金融規制関連の比類ない知見を提供します。

ポリシー・フレームワークには、450 項目からなる銀行ポリシー、金融規制要件、そしてクラウド適用におけるベスト・プラクティスがインプットされています。IBM パブリッククラウドの進化に伴い、規制変更いち早く対応するプラットフォームの確立に向けて Promontory 社は重要な役割を担い続けます。Promontory 社との協業により、金融サービス特化のポリシー・フレームワークにより、金融機関やサービス提供者が実装しなければならない規制対応におけるコストと時間を削減することができます。



実証された ISV と SaaS ベンダー ソリューション・ラインナップ

ポリシー・フレームワークによってコンプライアンス要件を満たした ISV と SaaS プロバイダーが IBM Cloud プラットフォームでサービスを提供します。全ての関係者の共同責任モデルで設計するポリシー・フレームワークによって、金融機関はパブリッククラウドを安心して活用することができます。

提供されるソリューションは、複雑性を排除し、銀行のイノベーションを加速します。それにより、

- ISV と SaaS プロバイダーは規制対応よりも革新的なサービスの提供に注力できます
- 銀行は第三者ベンダーの規制対応に割く時間と労力を削減し、顧客へのより革新的なサービス提供に力を振り向けることができます
- エコシステムにおけるサービス調達、契約、加盟処理などが簡素化され、全ての関係者にとって市場投入スピードを加速することができます。

ミッション・クリティカルなシステムに IBMパブリッククラウドを適用する

昨今のハイブリッド・マルチクラウド環境志向において、IBM パブリッククラウドは最も重要なシステムに求められる拡張性、セキュリティ、サービス間の統合、回復力を備え、可視性や制御を損なうことなく、必要なデータの独立性を確保します。レガシー・アプリケーションを Kubernetes や Red Hat OpenShift でリファクタリングする場合でも、オンプレミスやプライベートクラウド環境から VMware を使って”Lift and Shift”する場合でも、システム基盤に対して根元的に必要な要素は変わらないのです。

セキュリティとデータ保護で市場の リーダーに位置付けられる

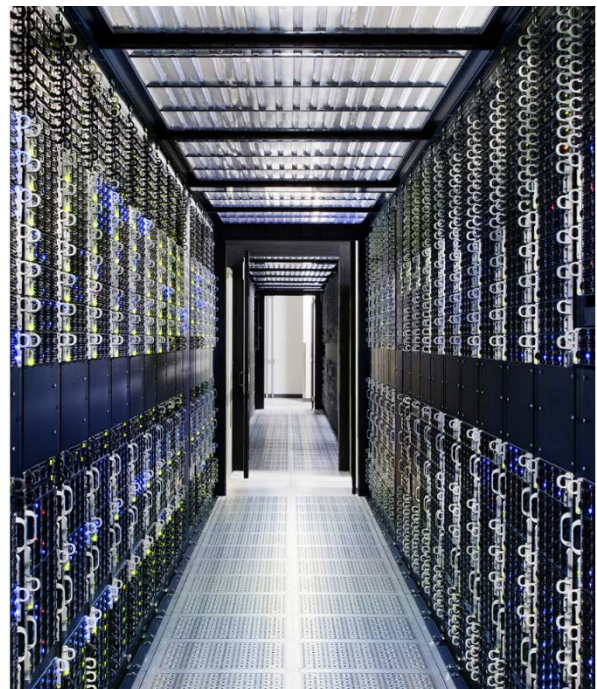
IBM パブリッククラウドは、世界中で最も大規模で重要なお客様の要求に基づいて設計されてきました。金融機関が信頼して利用している暗号技術と同じものが使われています。IBM パブリッククラウドに保管されたデータはその利用者だけに帰属しており、利用者からしかアクセスすることはできません。利用者は自分自身の暗号化キーを利用することができ、他の誰も - IBM でさえも - 複合化することはできません。そして、重要な業務アプリケーションを稼働させ、単一のダッシュボードで管理し、複数環境でのポータビリティを確保します。

- エンド・ツー・エンドの暗号化：
IBM は業界で最も強固な商用の最新暗号化技術 - IBM Cloud Hyper Protect Cryptographic Services - を提供します。これにより、独自の“keep your own key” (KYOK) 機能を利用することができます。FIPS 140-2 Level 4 の認証を取得しており、利用者はシステムの暗号化キーとハードウェアセキュリティモジュールを自身で管理し守ることができます。
- 標準装備の処理特性格セキュリティ：
アプリケーションはそれぞれの処理特性に応じて、様々なアクセスコントロールやセキュリティ対応が求められます。こうしたガイドラインの設定と実施に対して、IBM Cloud Kubernetes Service はコンテナセキュリティとクラウドネイティブ・アプリケーションのための DevSecOps 機能を提供します。
- IBM セキュリティ・アドバイザー：
セキュリティの設定ミスを検知し、利用者がセキュリティへの検討を見直して正しく対応できるようにガイドします。

IBM パブリッククラウドは最もオープンで安全な企業向けクラウドサービスとして設計されているのです。

新たな標準としての金融サービス向け パブリッククラウド

パブリッククラウドにおけるイノベーションに向けた世界初の金融サービス向けパブリッククラウドは、業界特有の規制要件とデータ保護要件に対応しています。IBM はデータセキュリティとプライバシーにおける新たな標準を確立しようとしています。金融機関は規制要件に対応・維持していくことができ、これでミッション・クリティカルシステムのクラウドへの移行を始めることができるのです。



Footnotes:

[1] [“Fintech companies raised a record \\$39.6 billion in 2018: research.”](#) Reuters, Technology News, 29 January 2019

[2] [“Global Risk 2017: Staying the Course in Banking.”](#) BCG, 2 March 2017

[3] [“Banking Regtechs to the Rescue?”](#) Bain & Company, 18 September 2016

[4] [“What will cybercrime cost your financial firm?”](#) Accenture, Finance and Risk, 15 July 2019



© Copyright IBM Corporation 2020

IBM Hybrid Cloud

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

Produced in Japan

2020年3月

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Cloud、および Promontory は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

本書の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

本書に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。



Please Recycle
